

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成24年4～6月期実績、7～9月期予想－

横浜信用金庫（横浜市中区尾上町2-16-1 理事長 斎藤 寿臣）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断D I】

業況D I は4期連続で改善傾向が続く

来期は僅かながら改善を見込む

- 今期（平成24年4～6月期）の業況判断D Iは $\Delta 8.9$ と、前期比10.1ポイント上昇した。来期は $\Delta 7.2$ と、今期より1.7ポイント上昇を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断D Iは前期比10.2ポイント上昇の $\Delta 3.6$ となった。特にプラスチック製品、一般機械器具が改善した。製造業の来期業況判断DIは $\Delta 5.2$ と、今期より1.6ポイント低下する見込みである。
- 非製造業の今期業況判断D Iは前期比10.0ポイント上昇の $\Delta 11.5$ となり、全業種で改善した。非製造業の来期業況判断DIは $\Delta 8.2$ と、今期より3.3ポイント上昇する見込みである。

【特別調査】 中小企業の人手過不足感と人材戦略について

- 人手の過不足状況は「適正」との回答が圧倒的
- 団塊世代の引退へ「対応はとらない」との回答が過半数・次いで「中途・経験者採用」
- 利用する求人チャネルは「特にない」「公共職業安定所」との回答が集中
- 採用時に求む職能・技能は「営業・販売」が最多
- 復興関連業務を「行った」企業は1割程度

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）774先 有効回答数：756先

調査方法：各営業店職員による聞き取り調査 調査時期：平成24年6月上旬

